



パワー浜松ロータリークラブ週報 2015年3月24日号 本年度テーマ: Rotary Mind、Rotary Wayを確認しよう～ 心で感じて・考えて・活動しよう～

パワー浜松ロータリークラブ (2014-15年度会長: 小林昭次)
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2 オークラクトシティホテル浜松 4307号室
Tel: 053-452-0800 Email: info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立: 2002年10月22日 認証伝達式: 2003年4月29日 スポンサークラブ: 浜松中RC



第574回例会 3月24日 AM7:30～8:30

オークラクトシティホテル浜松3Fチェルシーの間

- 司会: 鈴木和行一広、鷺津有一 ●点鐘: 小林昭次
- 議事: 出席奨励委員会「これからの家づくり 街づくり 人づくり」

<出席報告> 本日出席率68名 83, 95% 前々回出席率83, 95%

■会長挨拶



皆さんおはようございます。だいぶ温かくなりまして桜の開花宣言が出たにもかかわらず、寒の戻りというか寒い一日になりました。

した。

一ヶ月ぶりにズボンの下に1枚余分に履いてこちらへ来ましたが、日中には暑くなって脱ぎたくなると思います。ぜひ皆さんも体調管理にはお気をつけてもらいたいと思います。

この時期になると弊社では翌年度の事業計画を作ります。大きな組織改正や人事異動は1月にしますが、それぞれのセクション内の相談がなかなか大変で、今は4月1日に向けて調整をしている状況です。例年この時期になると組織全体がそわそわします。「俺、今度店長になれるかな」など、色々考えながら社員が仕事をしているのではないかと思います。皆さんの会社ではどうかなと思います。

このパワー浜松RCも間もなく知久年度を迎えます。会社で言うこの時期にちょうど相当するのかなあと、思いました。ぜひ頑張っている年度にして頂けたらと思います。今日も一日よろしくお祈りします。

■幹事報告

- ・来週31日の例会は特別休会となります。例会はありませんのでお間違えの無い様にお願い致します。
- ・残念なご報告があります。



村木則予会員がお仕事の都合で3月末をもって退会されます。村木さんには、毎週の週報作成で大変お世話になりました。新しいフォーマットも作成していただき本当にありがとうございました。

本日が最後の例会となりますので一言ご挨拶頂きます。



- ・本日例会終了後、第9回理事会を3階メイフェアで行います。出席義務のある方はスケジュールのご確認をお願いします。
- ・4月7日の例会は、松田ガバナー補佐訪問となっております。多くの方のご出席をお願い致します。

■委員会報告

募金活動委員会：村井睦彦委員長

3月14日～15日にかけて親日国でもあるバヌアツとツバルを襲



ったサイクロン「パム」による被害に対する災害支援の募金をパワー浜松ロータリークラブでも行いたいと思います。よろしくお願いします。

■スマイル

出席奨励委員会：

西尾会員、本日は卓話ありがとうございました。「建物の再生」への情熱が伝わってきました。再生を修復だけにとどまらず、存在を活かす為に歴史館等を広く勉強されている事を知りました。建設技能者が減り続ける社会背景ですが、再生の為にそれを活かす技能者を育成されます事にも期待しています。

■ハッピーバースデー

2月26日： 渡辺恭成

3月8日： 岩崎幸司

3月18日： 坂井光蔵

3月19日： 村井睦彦

3月21日： 高貝亮

3月25日： 野田みよ子

3月26日： 青山素久

皆様、お誕生日おめでとうございます。

■議事

卓話者：西尾文克

題目：これからの「家づくり」「街づくり」「人づくり」

卓話担当：出席奨励委員会



当社、株式会社 形 線では、「建物再生」を基本とした事業展開を行なっております。

高度成長期、急激な乱開発が進められてきた背景の中で、多くの貴重な建物が壊され、そして建て替えられ、その行為が何度も繰り返されてきました。

その結果、建物事態は軽いものへと変化し、街並の多くの思い出が失われてきました。更には、これによって大量な建築廃材が捨てられ、永年培われて来た職人の技が衰退し、伝統的な日本の文化までもが失われつつあります。

この様な経緯の中、今後最も重要なことは、今あるモノを生かし育てていく「再生」の考え方ではないかと感じております。

今まで残されてきた先人の資源を見つめ直し、その時代に合った機能性、更にはデザイン性、そして、文化的風土を捉えた上での「再生」の考え方がとても重要ではないかと感じております。

地域の生活や文化的役割の中心の持つ＝『建物の再生』

自然環境や景観に必要な＝『緑の再生』

そして、一つ一つを総合的に見つめ直した上で最終的に成り立つ＝『街並の再生』

今後、私たちの住む街「浜松」の根幹を見つめ直し、遠州地域の産業の礎となった報徳の教えの中で言われている「道徳と経済」のバランス感覚を持ち、

「至誠」「勤労」「分度」「推譲」の4つの柱の考え方がとても重要な時代となってくるものと感じております。